

4 重症薬疹の治療 ～これだけはしてはいけない～ Treatment of severe drug eruptions : Don'ts

平原和久

HIRAHARA Kazuhisa

埼玉医科大学総合医療センター皮膚科講師

Summary

重症薬疹にはスティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)や中毒性表皮壊死症(TEN)、薬剤性過敏症症候群(DIHS)などがあるが、TEN や DIHS ではいまだに死亡率が低くない。特に DIHS では、軽快後も再燃がみられ、画一的な治療が難しく、確立した治療法がないのが現状である。そのため、重症薬疹では「してはいけない」ことに気を配りながら治療を行わなければならない。この稿ではいくつかの重要な「してはいけない」ことを挙げ、解説していく。

SJS/TEN 診療ガイドライン¹⁾

重症多形滲出性紅斑に関する調査研究班により、2016年に診療ガイドラインが改訂された。新ガイドラインでは診断基準の一部に変更があり、治療については具体的な治療法が示され、アルゴリズムも提示されている。

免疫再構築症候群(IRIS)

この概念は一般的にHIV感染症に対する治療開始後にみられる病態であるが、DIHSの病態にも類似し、DIHSの治療を行ううえでも有用である。

KEY WORDS

スティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)／中毒性表皮壊死症(TEN)／薬剤性過敏症症候群(DIHS)／
SJS/TEN 診療ガイドライン／免疫再構築症候群(IRIS)